

【健脚2時間30分コース】

11.観音寺～国神神社コースガイド

稻荷山公園→浅間塚古墳→観音寺→不動の井→

国神神社→八代の大椎→稻荷山公園西駐車場

集合場所：稻荷山公園西市営駐車場



水郷潮来観光ボランティア連絡協議会

観音寺～国神神社コースガイド 【所要時間】約2時間30分健脚コース

(稻荷山公園と浅間塚古墳を口頭説明で通過すると約2時間)

稻荷山公園西市営駐車場（トイレ）→稻荷山公園（稻荷神社、潮来築堤記念之碑、潮来町立女子技芸学校跡碑、野口雨情歌碑、古墳、遺愛亭跡碑、展望台等）→浅間塚古墳→観音寺（トイレ）→不動の井→国神神社→八代の大椎→稻荷山公園西市営駐車場（トイレ）

1. 稲荷山公園（トイレ）

江戸時代の稻荷山は、水戸藩より御朱印10石を拝領の際与えられた長勝寺の寺領地で御朱印山と称しました。標高20mの小高い丘陵地にあり潮来の風致林とも、又航行の目印にもなっていました。山の一角には2代水戸藩主光圀公がお成りの際にお茶を楽しまれた「遺愛亭」跡の標識があります。

明治39年頃、町立女子技芸学校が設立され、昭和13年学校が移転し稻荷山公園になりました。公園内には宝暦13年（1768年）京都伏見稻荷の分霊をお迎えした「稻荷神社」や当地出身の政治家、橋本登美三郎氏の顕彰碑があります。又、野口雨情の「船頭小唄」歌碑、水郷汽船（株）社長の「菊池寛実顕彰碑」、「潮来築堤記念之碑」、「潮来町立女子技芸学校跡碑」もあります。

稻荷山公園には3基の前方後円墳と5期の円墳があります。7世紀初頭の後期古墳と思われます。最近アジサイが広範囲に植栽されA、B、Cの3ルートで楽しめます。



↓20分

稻荷神社



野口雨情「船頭小唄」歌碑

2. 浅間塚古墳

常陸利根川を望む台地縁辺にある墳丘全長84m、後円部径48m、高さ7.5m、前方部幅25m、高さ4.5mの前方後円墳です。墳丘の北東側に幅10mの周溝がありますが、西側は国道51号線のため一部削平されています。埴輪等は確認されていませんが、前期古墳の墳形を良く示しており、4世紀末から5世紀初めの築造と推定され、霞ヶ浦、北浦周辺で最古の前方後円墳です。前方後円墳の後円部の頂部に地元で「浅間様」と呼ばれる、浅間古墳神社が祀られています。



↓20分

全景



11-2 (49)

浅間古墳神社

3. 観音寺

宗派：真言宗豊山派 山号：瑠璃光山 本尊：聖觀世音菩薩

観音寺の創建は大同2年（807年）徳一大師が開山したのが始まりと伝えられています。

当初は尾の詰にありましたが觀応2年（1351年）に藤原国安により現在地に移され、鰐口と寺領5石を寄進しています。鰐口は青銅製、直径29cm、最大厚9cm「上福寺願主内蔵国安觀応三年五月十八日」の銘があり、製作年と寄進者が明確で意匠的に優れていることから昭和33年（1958年）に県指定重要文化財になっています。

薬師堂は弘治3年（1557年）に建てられ寄棟、茅葺、平入、外壁は真壁造り、素木板張、三間四面（一辺約5.5m）、室内には柱がなく屋根垂木は全て梁により支えられ天井は格天井で中央には狩野元信の筆と伝えられる龍が描かれ、室町時代の御堂建築の遺構として貴重なことから昭和44年（1969年）に県指定有形文化財になっています。又、観音寺には小野小町伝説が残っていて、平安時代、眼病を患った小町が百日間参籠を続け快癒を祈願したところ見事全快し、枝垂桜（現在は3代目・別称：小町桜）を寄進したそうです。元観音寺があった尾の詰も小野住（小野小町が住んでいた場所）が由来とも言われています。観音寺境内正面の山門は寛政年間（1789～1802年）に建てられたもので茅葺、妻入り、切妻、四脚門、江戸時代の茅葺山門建築の遺構として貴重なことから市指定有形文化財になっています。



↓30分

本堂



薬師堂

4. 不動の井 市指定文化財：不動の井洞穴、不動明王像

説明看板内容

洞穴の井は、高さ約5m余りの台地の底部が横穴状にくり抜かれて、間口1.5m奥行約3mの洞穴状で、湧き出る清水は下に流れて1辺1.8mの御手洗となっている。洞穴の中には寛保元年（1741年）10月銘で浮彫りの不動明王石碑が祀られ、入口には安永6年（1777年）銘の石碑が建っている。洞穴上部の台地は島崎城家老大平内膳の屋敷跡とされ、また、縄文時代の遺跡などがあり井は古い時代より使用されていたものと思われる。近くの集会所には石井七郎次寄進の金仏不動明王像が祀られている。



←不動の井

管理所→



↓35分

5. 国神神社 別名「国神明神」とも呼ばれる

祭神：大己貴命（おおむなみこと）、少彦名命（すくなひこのみこと）

社宝：雌獅子、中獅子、雄獅子

国神神社は嘉歴元年（1326年）大洗磯前神社のお分霊をお迎えし鎮斎、獅子舞は応永2年（1395年）氏子が雄獅子、雌獅子、中獅子の三体を寄進したことから始まり、笛、太鼓、舞手、天狗、おかめ、ひょっこりから組み立てられ奉納されています。子舞保存会が代々地区の嫡男によって運営され、この伝承が継承されています。

この獅子舞は県内では猿島郡境町、久慈郡大子町にだけ伝わる貴重なものです。

舞は巫女舞を最初にし、天狗の道割、芝寄せから雌獅子、中獅子、雄獅子の舞、最後に激しく乱舞し、ひょっこりおかめの掛け合いという順で終わります。

元禄3年（1690年）に水戸光圀公が旧暦卯の日に奉納することと定めたといわれ、毎年11月23日に五穀豊穣を願って奉納されます。



国神神社本殿



獅子舞

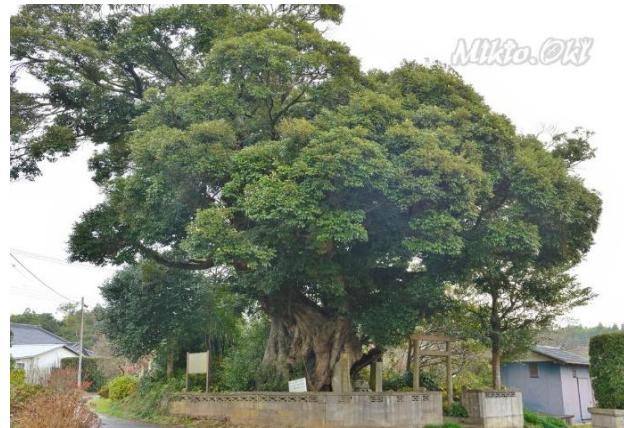
↓ 15分

6. 八代の大椎 樹種：スダジイ 推定樹齢900年

幹回り：10m 樹高：15m

台風等の被害により以前の樹形を失いましたが以前は樹高30m、幹回り10mもあり、県内でも最大級を誇る大椎でした。現在は高さ15mで幹が空洞となり枝も二つに分かれています。

台上戸神明神社の御神木で県指定天然記念物になっています。



↓ 30分

7. 稲荷山公園西市営駐車場（トイレ）